

# 議会だより

上南部こども園

NO.  
44

平成28年5月発行

## 〈3月定例会〉

- 予算概要……………P 2
- 一般会計予算・重点事業とポインツ……………P 4
- 予算審議Q&A……………P 6
- 地方創生加速化交付金……………P 7
- 一般質問(8人が登壇)……………P 8
- 産業建設常任委員会活動報告……………P 16

- 総務文教常任委員会活動報告……………P 18
- 農地転用の厳格化問題……………P 19
- 追跡調査……………P 20
- 熊本地震によせて……………P 21
- ようこそみなべ町へお知らせ……………P 22

# 防災、教育の充実

平成28年度 7会計総額

**142億8,855万円**  
(前年度比 1億5,835万円増)

- 一般会計 88億5,400万円  
(1億4,300万円増)
- 特別会計 54億3,455万円  
(1,535万円増)
- 国民健康保険特別会計  
25億1,788万円(8万円減)
- 後期高齢者医療特別会計  
2億8,015万円(76万円増)
- 介護保険特別会計  
16億996万円(1億428万円増)
- 農業集落排水事業特別会計  
2億9,709万円(1,137万円減)
- 公共下水道事業特別会計  
5億6,461万円(6,981万円減)
- 簡易水道事業特別会計  
1億6,486万円(841万円減)

## 3月定例会

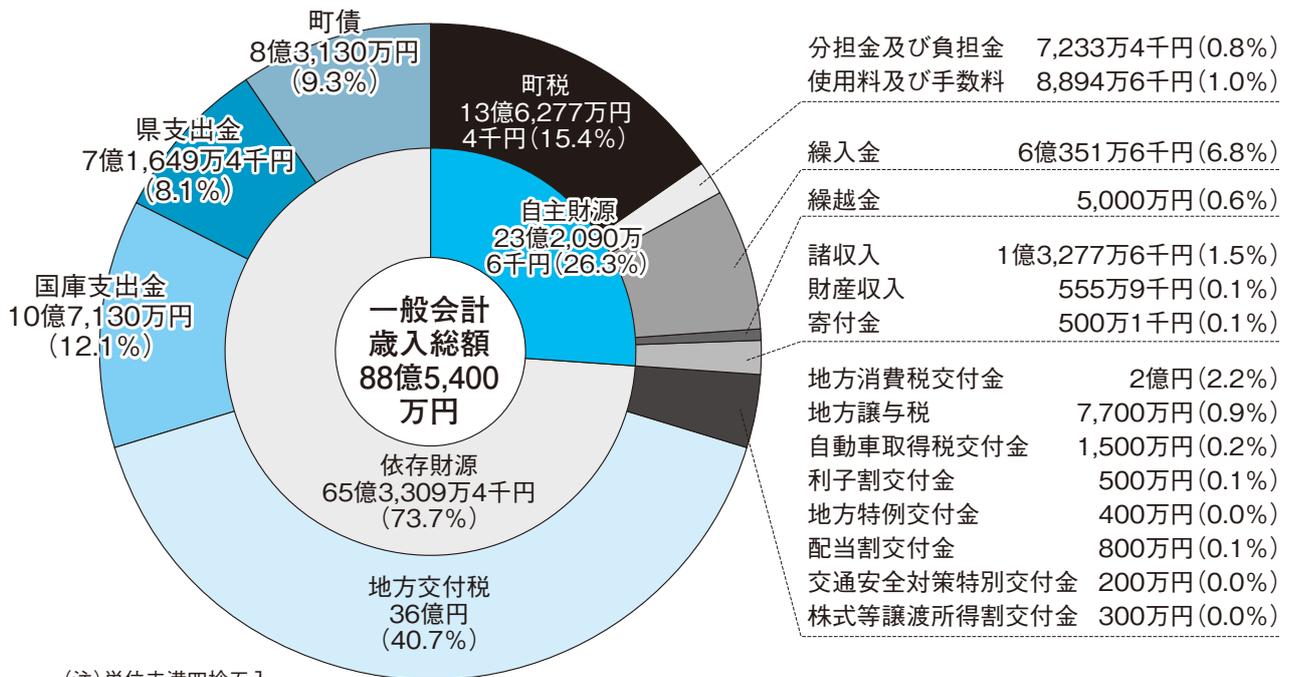
3月定例会は、3月7日から18日の12日間の会期で開催されました。新年度にあたっての町長の施政方針表明があり、町長から提案された平成28年度一般会計予算、6特別会計予算、水道事業会計予算のほか、平成27年度補正予算、条例の一部改正など26議案を慎重に審議し、いずれも可決しました。一般質問では8人の議員が登壇し、活発な質問をしました。

# 保健・福祉政策の充実

一般会計予算88億5,400万円 (前年度比1億4,300万円増)

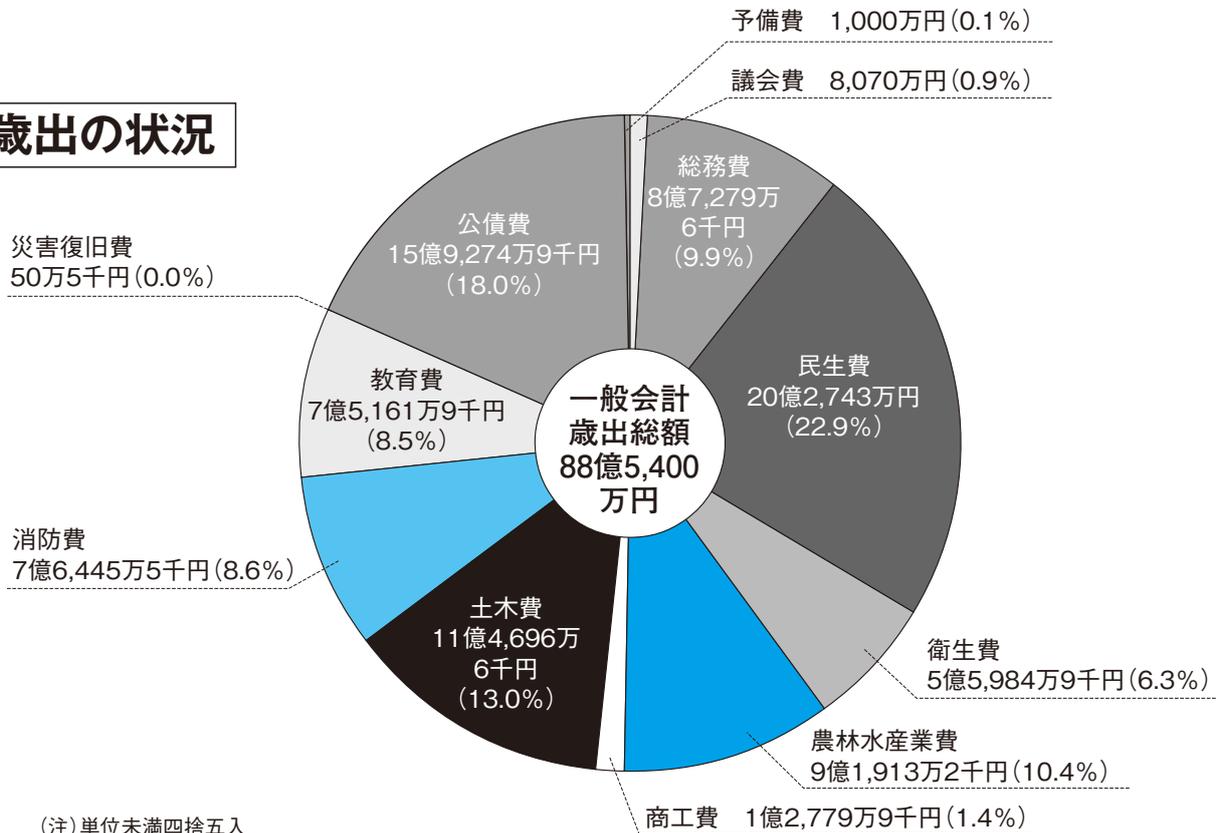
## 歳入の状況

自主財源 23億2,090万6千円(構成比26.3%)  
 依存財源 65億3,309万4千円(構成比73.7%)



(注)単位未満四捨五入

## 歳出の状況

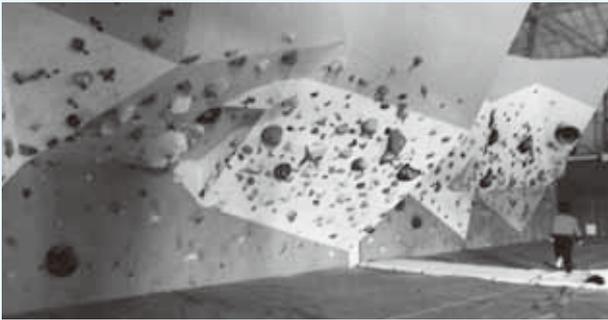


(注)単位未満四捨五入

# 重点事業と注目ポイント

## 教育

- 学校司書賃金 ……………219 万円
- 南部小プール設備等改修工事請負費 …2,000 万円
- スポーツライミング普及事業補助金 ……………241 万円
- 千里ヶ丘球場一般備品購入費 ……………497 万円



### 👉 ここがポイント

11月に山岳競技の梅の里カップ（仮称）を開く予定です。  
千里ヶ丘球場の備品はピッチングマシン400万円などです。

## 総務

- 地域活性化補助金 ……………50 万円
- 防犯カメラ設置工事請負費……………350 万円
- 地籍調査事業業務委託料……………1 億 766 万円
- 地方バス路線運行維持対策補助金 1,180 万円



### 👉 ここがポイント

地域活性化補助金は昨年度2件の実績がありました。良いアイデアをお持ちの方は積極的に活用下さい。  
地籍調査は今年度から谷口、晩稻、熊瀬川に着手します。昨年度末で41.53km(35%)まで進みました。

## 保健・福祉

- 胃検診委託料 ……………814 万円
- 高城診療所屋根改修等工事請負費 1,715 万円
- 高齢者温泉入浴料補助金 ……………291 万円

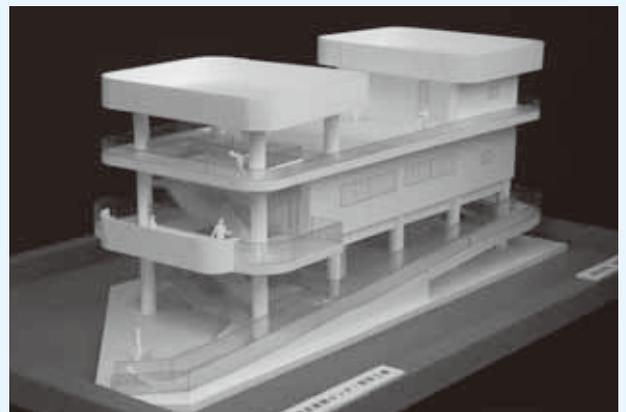


### 👉 ここがポイント

胃カメラによるがん検診が始まります。  
温泉補助金は、鶴の湯と国民宿舎を合わせ年間8000人以上の利用を見込んでいます。

## 防災

- 津波避難施設新築工事請負費 1 億 8,877 万円
- 防災拠点関連測量設計業務委託料…4,500 万円



### 👉 ここがポイント

気佐藤の津波避難施設は今年度中に着工し、来年5月完成予定です。東吉田の防災拠点と合わせ、防災施設整備事業費全体で今年度4億3825万円を計上しています。

# 平成28年度 一般会計

## 建設・土木

- 町道改良工事費
- 浜線…2,400万円 ● 滝線…1億4,800万円
  - 高野沼川線…5,000万円
  - 名之内線…3,000万円
  - 東神野川線…1億500万円



### 👉 ここがポイント

工事費以外に1億7400万円の用地物件補償費を計上しています。

## 農林水産

- 野菜花き産地支援事業補助金 ……1,735万円
- 防護柵等設置支援事業補助金 ……800万円
- 海岸堤防等老朽化対策事業 ……3,840万円



### 👉 ここがポイント

上記のほか有害鳥獣対策に計760万円を計上しています。

海岸老朽化対策は築後50年以上の堤防の長寿命化を図る新規事業です。

## 商工・観光

- 鶴の湯管理事業 ……4,662万円
- 国民宿舎紀州路みなべ本館  
屋上防水工事 ……3,400万円
- 教育旅行誘致事業補助金 ……580万円



### 👉 ここがポイント

鶴の湯温泉に薪ボイラーを導入する費用を計上しています。

教育旅行は、町外の学校の修学旅行、体験型旅行を誘致するため1泊1000円を補助するものです。

## 生活・環境

- 塵芥処理費すさみ町清掃費分担金 8,499万円
- 紀南環境広域施設組合負担金 ……901万円
- 田辺市周辺衛生施設組合負担金 ……4,397万円



### 👉 ここがポイント

すさみ町清掃負担金は、2年連続の減少です。  
(H26→27△600万円、H27→28△800万円)  
ごみの減量にご協力ありがとうございます。

# 予算審議における主なQ&A

## 学校司書

**Q** 学校司書が昨年  
から1名上南部  
小を中心に導入され図  
書館の環境が良くなっ  
たが、ほかの小学校は。

**A** 新年度、南部小  
に1名予定し2  
名体制で町内5校を回  
ってもらいたいと考え  
ています。



する事業を行う団体に  
対し、一事業20万円を  
限度に補助します。

**Q** 参加者は町内在  
住者なのか。

**A** 補助対象は事業  
者ですが、参加  
者は10名以上で、町内  
在住または勤務する者  
が参加者全体の4分の  
1以上であること。4  
分の1については再検  
討したい。

## 防犯カメラ

**Q** 上南部中の防犯  
カメラ設置を必  
要とする理由は。



**A** 自転車置き場な  
ど職員室から離  
れた所から生徒が入り  
ます。死角になり生徒  
の動きが見えにくい  
ので安全確保と学校施設  
運営のためにお願いす  
るものです。

## 教育旅行の 誘致事業補助金

**Q** スポーツ合宿も  
含むのか。

**A** 修学旅行、スポ  
ーツ合宿、文化  
活動の合宿が対象です。  
1名一泊当たり100  
0円の助成で、上限は  
1団体20万円です。

## 紀州材で建てる 住宅支援事業

**Q** 対象は町内の切  
り出し材、製材  
業者なのか。

**A** 紀州材と認定さ  
れているものが



補助対象になります。  
利用者が多く県補助金  
が下がった分を補填す  
るものです。

## 鶴の湯温泉新ボイラー

**Q** 重油単価とその  
比較で、採算ラ  
インは。

**A** 1リットルあた  
り50円台で同レ  
ベルかと考えています。  
3〜4割削減できる試  
算となっています。

## 鶴の湯温泉の指定管理

**Q** 昨年と同じ13  
80万円の予算  
となっているが、当初  
は年々下がるという説  
明だったのでは。

**A** 毎年4月に協定  
書を交わします。  
その中で1300万円  
で契約したいと思っ  
ています。

## 高台防災拠点設備

**Q** 広く町民の理解  
が得られて、場  
所として適切なのか。  
町負担分はどのくらい  
になるのか。

**A** 前々から一般質  
問などでも保育  
所の高台移転の話は出  
ています。3ヶ所程度  
の選定地からめどが立  
つ可能性が高い1ヶ所  
に絞り込みました。周  
辺の関係者と接触をも  
ち計画を進めてきまし  
た。町負担額は今の段  
階では概算事業費とな  
っています。

**Q** パブリックコメ  
ントを求めるこ  
とがあってもいいと思  
うが。

**A** 今後保育所等ど  
うするか、いろ  
んな形で保護者や町民  
に意見を聞きながら進  
めていけるかと思いま  
す。まず水利権者、地  
権者の方々の意向も踏  
まえた結果、今回の提  
案となりました。

## 観光協会

**Q** 外国語パンフレ  
ットは、何語を  
作成するのか。

**A** 最高3ヶ国語で、  
基本は英語です。  
あと中国語、韓国語な  
どを考えています。



## 婚活支援

**Q** 婚活支援の補助  
金60万円の内容  
は。

**A** 結婚のための出  
会いの場を創出

# 地方創生で総額約7800万円の予算

平成27年度一般会計補正予算案（第9号）が18日に追加提案され、全会一致で可決しました。全額国費の地方創生加速化交付金関連で総額約7800万円です。全額28年度へ繰り越し執行されます。内訳は梅産業の振興に約5900万円、林業振興に約1900万円。

梅産業では、田辺市、県と連携して世界農業遺産認定活用に取り組みます。町単独では若年層対象の市場調査や、著名人による「梅大好き女子会」の結成、アスリート向け商品開発、機能性の情報発信、「UME-1グルメ甲子園」、全国ウメ生産者女性サミットなど、梅のプロモーション事業を実施します。

林業ではエネルギーの地産地消、森林の環境保全、後継者育成を図るべく、ハードを整備します。

「地方創生加速化交付金」とは1億総活躍社会の実現に向けた緊急対応として、27年度に総額1000億円が新設された交付金です。

地域創生加速化交付金（100%国費）

(千円)

●世界農業遺産認定活用事業（広域連携）	みなべ町	田辺市	和歌山県	総事業費
世界農業遺産の活用方策・情報発信	7,000	7,000		14,000
梅システムマイスター育成	186	186	371	743
GIAHSシンポジウム開催	758	758	1,253	2,769
都市圏での特産物販売促進	1,980	1,980	3,960	7,920
世界農業遺産認定地域間共同特産物、農業遺産PR	632	632	810	2,074
伊勢志摩サミット等での特産物PR	540	540		1,080
「海外市場の調査」プロジェクト	6,900	6,900		13,800
合計	17,996	17,996	6,394	42,386

●みなべ町のプロモーション事業	事業費
若年層のサンプリング・マーケティング調査	2,408
首都圏テナントを活用した店舗プロモーション	1,476
みなべ町の梅情報発信（若年層・主婦層をターゲットに）	8,800
スポーツ＝梅普及戦略（体育大学との連携）	4,422
梅の機能性情報発信・食育普及推進	4,460
ご飯と梅干しの普及戦略	3,384
南魚沼市との連携	884
UME-1グルメ甲子園	2,500
食＝女性による地域活性化戦略	2,160
梅商品開発支援セミナー	660
全国ウメ生産者女性サミット	1,500
地域からの発信、地域への誘客	12,280
外国語版・観光パンフレット作成	2,160
観光設備整備（うめ振興館展示案内・観光看板）	4,320
みなべ町教育旅行誘致促進	5,800
旅費	1,760
合計	41,150

●備長炭保全と森林資源活性の地域活性化事業	事業費
薪乾燥機（ステンレス製）	3,132
薪運搬用トラック（15台）	300
油圧式薪割り機	5,000
木質チップ粉砕機（2台）チップ自動振り機	1,500
フォークリフト1.5t	1,600
ユニット付トラック2.6t	6,000
PR、研修等	1,300
合計	18,832
総計	77,978

●各議員の議案採決結果（反対のあった議案のみ）○：賛成 ×：反対 -：議長は採決には加わりません

議案	井口 雅裕	中井 重雄	下村 勤	森坂 義明	中本 光一	真造 賢二	原田 覚	佐々木香徳	谷本 吉弘	北谷 清治	竹本 栄次	田中 昭彦
平成27年度みなべ町一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-
平成28年度みなべ町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-

さ さ き よしのり  
佐々木 香徳 議員



## 交通 駅前駐車場有料化の前に すべきことがある

➡スペースは30台に減る。予約制は難しい

**質問** 町民一般よりも鉄道を利用するために駐車している人に意見を聞くべきです。有料化で南部駅の利用者と売上が減り、無人時間帯拡大が心配。人口6万の紀の川市で1日4時間しか営業しない駅もあります。駐車可能台数が減るのでは。先日調べると山側26台、海側16台、計42台停まっています。マナーの悪い車を排除しても、元々のキヤパシテイが減っては何の改善にもなりません。

**意見募集の結果、仮に有料化やむなしとなっても、設備を簡略化して安くすべき。初期費用が1200万円と説明されたが、パーキングチケット制の低コストの仕組みを検討すべき。計画は機械屋を**



連日ほぼ満車の駅前駐車場

**町長** 駅利用以外の常時駐車らしき車を7台特定し、再調査すると、前と同じ車を含め10台程度が常時駐車の見込みでした。

維持費用が年間百数十万円と計算しています。最初30分無料、1時間100円、24時間

もうけさせるだけです。最大300円と考えています。

有料化でスペースは30台となりますが常駐がなくなります。パーキングチケットは設置費用は安くつきませんが、違反を発見しても追跡が難しく現状と変わらない恐れがあります。

**再質問** 公平性よりも確実に置いて間違いなく電車に乗れるのが大事だと思います。アンケートの身に反映して頂きたい。チケット式なら機械代も節約できるし、1台でも多く止められる方が大事でしょう。

**町長** 確実に停めるなら民間の月極めに。

**再々質問** 通勤でなく、旅行に行く

とき指定席を取ったが、停める所がない、発車時間は迫る。これを考えないといけない。有料化と引き換えに予約制を考えて頂きたい。

**町長** 旅行や出張の場合、満車だから取りやめとはなりません。どこかに確保して停めていただく。予約制は非常に難しい。

届くのでは。

**町長** 農業収入のある方はH23年から順に1432人、1331人、1332人、1280人、1254人。消費税は御坊税務署が回答しません。外税でも内税でも農家に入る金額が増えることはない。

**再質問** その理屈だと加工業者が外税にしない理由が説明つきませぬ。答弁が後退しているのは残念です。

**町長** 消費税は国税で、そういう答弁にならざるを得ない。

**産業**  
**梅干し消費税**

**質問** 町内農家で所得税と消費税の申告者数は何人ですか。消費税は本則課税と簡易課税の内訳もデータ提示を。外税扱いを徹底すれば、農家に一旦入るお金がどれだけ増えますか。平均単価2500円×8%×100樽＝2万円。500樽なら10万円。全町なら1億円に

**町長** 消費税は国税で、そういう答弁にならざるを得ない。

**再々質問** 業者が外税にしないのは損をするから。制度上の欠陥で、末端の農家が犠牲になっていることを認識してほしい。

**町長** 外税で業者が損するとは考えません。

一般質問は、平成28年3月11日に8人の議員が行ないました。



しもむら つとむ  
下村 勤 議員

## 生活 光ファイバーの今後、 町内格差の是正

### ➔ 費用負担、有利な辺地債の利用を検討

**質問** 合併前に上南部と高城、清川地区の情報網格差是正のため、ブロードバンド未整備地区に対し、ADSL化事業が行われました。

合併後、携帯電話不可能地域解消支援のため、6ヶ所に光ファイバーの接続携帯電話鉄塔と、1ヶ所の基地局が設置され、町内の通信網の格差は一定是正されてまいりました。

最近ではインターネットを活用し、梅農家ではホームページを開設し、通販されている農家が増えてきています。そういったことから、町内全域で光通信網整備をと言う声を多く聞いています。今までも機会あるたび要望してきましたが、解決に至っていませんでした。

そういったなか、28年度予算に、これらの補助金が予算化されて



います。今後の見通しについてお聞きします。

**町長** 現在の回線ADSLより高速である光回線の整備を、以前から通信事業者であるNTTに陳情してきましたが、単独では整備できないと言っていました。

町の負担を考慮に入れ、申し入れたところ、町負担総額1億4千万円と高額になっています。

全額を一般財源から措置をすることは、今の財政状況では難しいことから、一番有利な辺地債を利用できれば

と考えています。今年度の予算は、そういった部分の調査費として提案しています。早速財政面の交渉に取り組んでまいります。

### 経済

## 世界農業遺産の認定を受けて

**質問** 今回の認定にちなみ、町民はじめ田辺市民の皆様へ、感謝を申し上げますと同時に、事務局を担当した、うめ課職員のご苦労に敬意と感謝を申し上げます。

認定されたことについては、大変、大変あります。今後これらを活用し、梅産業や林業関係、観光にどれだけ経済効果を出していくかは、大変な課題であると思います。

町としてどのように今後取り組んでいくのか。お聞きします。

**町長** 認定活用を含めたアクションプランの実施については、農業、林業、観光の3分野の専門部会を設置し、検討、実行していくことにしています。

それらの委員は協議会委員や、構成団体からだけではなく、いろんな分野の方々から選出していきます。

農家民泊や加工体験といったグリーンツーリズムと、農業遺産を組み合わせ、魅力を伝えられる語り部の養成にも努めていきます。

若者の発想が今後大きく左右され、既成概念にとらわれず、意見を取り入れて海外に発信できればと、思っています。

今後生産者、加工業者、JA、行政が一

体となって、地域の振興、梅、炭の消費拡大など、産業振興に、また、観光振興に取り組んでまいります。

また、地元小中学校での郷土愛を育む為の、ふるさと教育とか、高等学校での環境学習や地域学習、梅加工開発等の実践学習により、地域振興の一翼を担っていたり、人材育成に努めます。



いぐちまさひろ  
井口雅裕 議員

## 福祉 認知症高齢者に優しい地域づくりに

### ➔ 民生委員、福祉委員等の方々の協力を得ながら

**質問** 認知症とともに生きられる社会の実現を目指して国は「認知症施策推進5か年計画（オレンジプラン）」をスタートさせ、施設中心だった認知症のケアを自宅での介護にシフトさせる方針を示しました。昨年には「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」を作り、認知症の人が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続ける施策を打ち出しています。

認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）～認知症高齢者等にやさしい地域づくりにむけて～の冊子のおわりに「認知症高齢者等には、行政、民間、地域住民など様々な主体がそれぞれの役割を果たしていくことが求められています。また認知症高齢者等にやさしい地域は、決して認知症の人だけにやさしい地域ではありません。困っている人がいれば、その人の尊厳を尊重しつつ手助けをするというコミュニケーションの繋がりがこそが、その基盤であり、認知症高齢者等にやさしい地域づくりを通じて地域を再生する」という視点も重要です。」とあります。

みなべ町においても福祉行政には多大なる力を入れてくださっていることは理解しています。

民間、地域住民と一緒にになり見守り隊等の組織づくりをしていただいたい。

**町長**

- ・介護予防日常生活支援総合事業
- ・生活支援体制整備事業
- ・在宅介護連帯推進事業
- ・認知症総合支援事業

この4つの事業が、平成29～30年にかけて全国の自治体で展開され

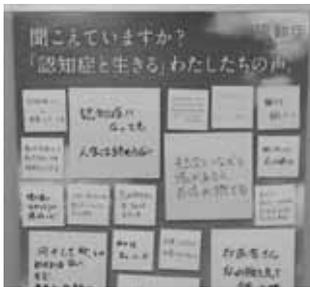
ることになっていきます。

認知症キャラバンメイト連絡会を立ち上げ養成講座を今まで10回以上開催しています。

28年度には小中学生を対象にサポーター養成講座を行う予定です。

30年4月認知症初期集中支援チームの設立に向けて今年度職員1名が研修を受ける予定で、2名が認知症地域支援推進員の資格を取得すべく準備をしています。

見守り体制をいかにしていくか、民生委員、福祉委員の方々のご協力をいたただきながらまた障害者団体の皆さんとも相談しながら取り組んでいきます。



## 生活 街灯について

### ⬇️ 防犯灯として整備できないか

**質問** 町内の県道の道路照明灯についてお願いがありません。中芳養南部線の猪ノ山進入路交差点、八丁田の交差点、突き当りの変形交差点への設置であります。

また、商店街で維持管理をしている街路灯があります。中央商店街（新町、南道）すらん通、高見通、栄町商店街です。

元の街道でそこそこ人通りもあります。商店街といっても店を閉めたり新しく住宅を建てたりして、街路灯は、広告灯、看板灯の役目は卒業してありますが道路照明灯、防犯灯の役割を果たしていると思えます。

町道北道埴田線（都市街路）の道路照明灯を町が負担し、農免道

路、中芳養南部線（オークワ前、八丁田）の防犯灯を町が負担しているわけですから、街路灯についても町が助成、負担してもいいのではと思いますがいかがでしょうか。

**町長** 県道中芳養南部線の猪ノ山団地取合せ線交差点の道路照明灯の設置については県に要望をしています。

商店街の照明については今後どうあるべきか苦慮しているところで、商店街の活性化というよりも、健康増進のため散歩されておられる方、塾に通う子供たちの安全性を考えて、主要町道や商店街の照明を防犯灯として整備していくことが必要ではないかと考えています。



たにもとよしひろ  
谷本吉弘 議員

防災・地方創生

みなべ町における  
街づくり100年プラン

➔ 高台に住宅供給を

民間業者が宅地、住宅を供給する行政主導に

山の上の道構想を述べられていました。山の上の道ができれば行政が社会資本整備を行い、民間業者が宅地、住宅を供給する行政主導に

さらに周辺道路の整備を進めることにより、宅地造成の起爆剤となり得る事業だと考えています。



埋め立て予定の小山田池

※新地町―福島県の北端に位置する町です。みなべ町が県下で唯一復興応援職員を派遣している町で、災害時相互応援協定を締結しています。

東日本大震災以来、高台への住宅需要が非常に高くなっています。町内のアパートに住んでいる人が、町内に適当な土地がないことから、町外へ家を建てる傾向にあります。住民の要求に応え切れていない事実が見えてきます。小谷町長は、3年半前の町長選において

山の上の道構想を述べられていました。山の上の道ができれば行政が社会資本整備を行い、民間業者が宅地、住宅を供給する行政主導に

さらに周辺道路の整備を進めることにより、宅地造成の起爆剤となり得る事業だと考えています。

被災数を減らす方向でいけないかと考えています。

新地町の町長さんの話を聞く中で、高台に町営住宅がかなりの戸数必要であると実感しています。避難が困難な方や、高齢者の方の命を守るための高台町営住宅を見据えていくにしても、少し膨大過ぎて今すぐ答弁できません。

質問 先日、小山田池及び周辺地域への幼稚園・保育園の移転と防災公園の整備事業の説明会が開かれました。15億から20億円の予算を投じる、新町始まって以来の最大の事業かと思えます。今後この場所が防災面だけでなく、地域づくりの中心となるでしょうか。

答 今回この大きな事業を新たな街づくりの始まりとして位置づけさせていただきたいと思えます。

再質問 本町においては、高台への避難道の整備がほぼ終わり、避難困難地域に避難センターが建てられようとしています。その後

被災数を減らす方向でいけないかと考えています。

新地町の町長さんの話を聞く中で、高台に町営住宅がかなりの戸数必要であると実感しています。避難が困難な方や、高齢者の方の命を守るための高台町営住宅を見据えていくにしても、少し膨大過ぎて今すぐ答弁できません。

議員 二 賢 造 真



## 産業 世界農業遺産への具体的取組？

### ⇒ 住民参加の実行委員会でアクションプランを

**質問** 「みなべ・田辺の梅システム」の世界農業遺産への認定は、このシステムが世界レベルで持続されるべき農業形態であると認められたことであり、大変意義深く喜ばしいこと。認定に尽力された全ての方々に感謝致します。これを契機に、この地域が永続的に発展して欲しいと切に願います。

そのためにもこの認定をどう活かしていくのか、今後の具体的な取組が重要。ところがそれが町民の皆さまに十分伝わっていないのでは？それを明確にしたい。次の5点にお答えください。

① 農業遺産認定を目指した目的は？  
 ② 梅を国内外に拡販のチャンスとは？  
 ③ アクションプランをどう具体化？  
 ④ 町民理解をどう深めていくのか？

⑤ 町民のアイデアをどう取り入れる？

**町長** ①梅の消費拡大、販路開拓を含めた梅産業振興、それを核とした観光振興。里山保全、備長炭の振興。②認定地を知って貰う、来て貰う、泊まって貰う、食べて貰う取組みで消費拡大。海外へは和食ブームが新たな可能性。マーケティング調査等の実施で販路開拓に。③専門部会の委員には協議会以外の様々な分野からも参加して頂く。アクションプランは1年での完遂ではなく、年毎の計画を立てて推進。④住民を巻き込んだワークショップや説明会を開催。⑤ワークショップを実施する中。

**再質問** いつまでにアクションプランを実行する委員会の立上げ、工程表への落とし込みをされるのか。

**うめ課長** 極力早く立

ち上げアクションプランを実行して参ります。

**再々質問** 3つの提案。①「全国世界農業遺産サミット」の開催を提案、第一回をみなべ町に誘致しては。町内外へのPRと共に、先進地の取組も学べるはず。②典型的な農業遺産の景観地を数ヶ所指定しては。視覚への訴求、放棄畑対応として。③更なる山、川、海の環境保全、多様な生物の生態系を未来に継承。

**町長** ①農水省で既に取組中、その歩調に合わせていきます。②選定は困難でしょうが、観光客にPRできる場合は作れば。③梅畑、炭薪山を継承し、生態系も保全していきます。



典型的な農業遺産景観例

**人口 人口減対策としての移住推進施策は？**

**↓ まずは空家の活用を**

**質問** 人口減ほどの自治体においても切実な課題、地方創生においても大きなポイント。県では移住推進市町村を対象に様々な手厚い田舎暮らし支援事業を展開。（若年移住者暮らし奨励金250万円、移住者起業補助金100万円、空き家改修補助80万円等の補助金、現地体験会や空家バンク、都会でのUJインターフェアの開催等）

みなべ町も移住推進市町村になり、これらの恩恵を受けるのが得策と考えるが。

**町長** 移住推進市町村の認定には受入協議会の立上げが必要、十分に研究して参ります。また空家情報については区長会の協力のもと集約中です。

**再質問** 農業遺産に認

定された宮崎県高千穂町では、民間に移住定住促進事業を委託、また都市圏からの積極的な人材受入れ、定住と地域の活性化を目的に「地域おこし協力隊」を4名募集と積極的な施策を展開。このように町ぐるみで移住推進を図って頂きたい。

**町長** 高千穂町の取組は研究し参考にします。やはり空家の活用がすぐできる有効な手段、情報を整理し推進していきます。また移住・定住策として紀州材を用いての増改築に補助金を新設しました。

**その他の質問**

- 梅の消費拡大戦略は？
- 「梅で健康のまち」宣言の具体化策は？



きただにせいじ  
北谷清治 議員

## 行政 次期町長選への決意は

### → みなべの発展のため、小谷町長出馬表明

**質問** 町長就任以来2期目も残り6カ月となりました。

1期目では平成23年の大水害の対応には大変な労力を使われたのは、皆さん御承知のとおりであります。そして2期目では高校生までの医療費無料化、給食センターの増改築、小中学校など公共施設の耐震化、国道424号線や町道の改良、また大水害の災害復旧などに取り組まれました。さらに漁業の振興や災害備蓄用の梅の販売、昨年末のみなべ・田辺梅システムの世界農業遺産の認定に対しても努力されました。そしてH28年度予算では津波避難センターの建設や、防災拠点の整備も計画されています。まだまだ他にも取り組まれていますが、町長に対する批判や悪評は聞いたことはなく、



町長室

むしろ多くの町民の方々から続投を求める声を耳にします。町長のご決断をおねがいます。

**町長** 多くの町民の方々から農業遺産の認定を活かし、故郷（ふるさと）みなべの発展のため今一度リーダーシップを発揮し、町のかじ取りをせよとの声をいただいております。熟慮の結果、信頼を得ている多くの皆様方にお答えする事が私の使命であろうと考えまして、次期町長選に出馬の決意を固めました。

### 地域振興

## 旧清川中学校施設の活用と進入路整備

**質問** 昨年行われた国体終了後、山岳競技・ボルダリングの壁が旧清川中体育館に移設されています。今後の活用の計画があればお聞かせ下さい。

また校舎やグラウンドの利用については今後どのような形で検討されるのかお聞きします。

次に進入路の問題です。この町道は狭く、両側に建物があり、車同士の対向は不可能です。地域外からの車の増加も考えられることから整備が必要だと考えますが、どのようにお考えですか。

会とか初心者向けの教室も予定しています。

秋には、町主催の梅の里カップ・ボルダリング第2回大会も計画しており、ワールドカップや国体の選手の輩出や育成に、また2020年のオリンピック競技に選定されれば合宿にこの施設を使っていただければとも考えています。

校舎やグラウンドの利用については、役場の中で検討委員会を設

け方向性を定めて有効利用を考えたいと思っています。

進入路については、全体構想の進み具合を見ながらの検討となるかと思いますが、現在の道路の拡幅は、保育所や民家もあり難しい部分もあり、もし譲っていただけなら国道から直線に入れる公民館の少し上あたりかなと考えています。

いずれにしても清川地区の活性化と町全体にとって有益となる活用を見極めてまいりたいと考えています。



旧清川中学校体育館

はらだ さとる  
原田 覚 議員



## 産業 世界農業遺産をどう活かすのか

### ➔ 3分野の専門部会を設置し検討



**質問**

世界農業遺産の認定は今後のみなべ町の農業、林業、観光にとって大変重要であります。まず、本町と和歌山県と田辺市の連携は今後どのような形になり、どこが中心となって事務局を置いて進めるのか。また、3者連携で取り組むのか、それとも単独で取り組むのか伺います。

世界農業遺産活用事業として、地方創生加速化交付金広域連携事業という事業計画書を国に提出しています。世界農業遺産の活用方策、情報発信事業、梅システムマイスター育成事業、GIAHSシンポジウムの

世界との情報交換、梅のPR、観光等を考慮すれば外国語が堪能な職員の必要性和少数職員での事務局が心配ですが、その対応はどうされますか。

この認定をどう活かしていくのか、今後の取り組みについてのお考えをお伺いします。

**町長**

連携については、今後もみなべ田辺地域世界農業遺産推進協議会で取り組み、事務局は、うめ課で対応したいと思っています。

開催、都市圏での販売促進事業、世界農業遺産認定地域間共同特産物・農業遺産PR、伊勢志摩サミット等での特産物PR、海外事情の調査プロジェクト事業等は、広域連携をして進めたいと思っています。

みなべ・田辺推進協議会として行う事業は、啓発グッズやホームページの作成費、協議会の運営経費を申請しています。

町独自で申請している事業は、都市部でのサンプリング・マーケティング調査事業や人気モデルを活用した情報発信事業、首都圏のテナントを活用した店舗プロモーション事業、うめ大好き芸女子会結成事業、スポーツうめ普及戦略、ご飯と梅干普及戦略事業、梅の機能性の情報発信、食育講座の開催、食

女性による地域活性化戦略、外国語版パンフレットのや観光施設の整備、教育旅行受け入れ支援という部分を申請しています。(P7に詳細)

担当窓口の対応は推進協議会の事務局、梅振興、観光振興、農業振興もうめ課で対応するため現体制では対応できなくなると予想しており、1名増員する計画で調整しています。

今後は、農業部、林業部、観光部の3つの専門部会を設置して取り組んでまいりたい。

**再質問**

3つの専門分野では町民のアイデアや若者の発想というものを取り入れ、官民一体となって協働で進め



うめ課窓口

ていただきたい。

**町長**

専門部には色々な方々に入っていたたく、特に若者の意見をとり入れる必要性は感じてございます。

**その他の質問**

●山岳競技施設の活用について

●次期町長選の出馬について

なかもと こういち  
**中本光一** 議員



## 産業 行政に携わる人材で他行政へ売込みを

### ➔ 売込みをかけられる部分は、売込みを始める

**質問** 梅業界に携わる人たちが（梅製造会社・農家の人々）は、一般企業・一般の顧客への販売を今までそして現在も模索しています。反面、行政に携わる者（役場の職員・我々議員）は、民間では売込みの難しい行政や公的な部署への売込みができません。

**町長** これからのみなべ町職員の出張・また議員の行政視察等、他市町村へのみなべ町産品の売込みをすぐに始めるべきだと思えますがどのようにお考えでしょうか。

**再質問** 議員の中には、営業にたけた方もいらっしゃると思います。議員単独でも営業に行きますので、よろしくお願いします。

**町長** 各市町村でのいろんな取り組み状況を見ていく中で、取り入れられる部分は取り入れたいと考えていますので、今後とも共同歩調でお願いしたいと思います。

### 観光 観光課の独立 来庁者に分かりやすく検討

**質問** 平成27年9月24日には、吉野熊野国立公園がみなべ町まで拡張。12月15日には、みなべ・田辺の梅システムが世界農業遺産に認定されました。そして、今後、ジオパーク構想への参入・世界遺産追加登録など推進していかなければなりません。また、町の他の産業と連携して、消費の拡大・ブランドの確立・ファンづくりなどに結び付ける必要があります。従いまして、観光課の新設をお願いします。

**町長** 来庁される皆様方にわかりやすいような形にできればと考えています。

**町長** スピード感をも

**町長** 自分自身の建物に自分の町の自慢を展示して、訪れるお客様に紹介するのは基本であると思います。早急に役場入口の空いているスペースにみなべ町をアピールする観光及び名産品の展示コーナーの設置をお願いします。

**町長** 自分町の建物についてのことです。まずはできる部分のほうから順次進めてまいりたい。

あと、最終形としては、そこで試食していただいで販売できれば一番良いと思っていますので、それまで前段の部分として、空箱の部分から、まずは検討を始めさせていただきます。



西脇市役所玄関の物産展示

# 産業建設常任委員会 活動報告

平成28年2月15日 岡山県西粟倉村に薪ボイラー関連の視察を行いました。  
 平成28年4月7日 町内にて梅のひょう被害状況の調査を行いました。

## 西粟倉村視察

みなべ町では鶴の湯温泉への薪ボイラー導入（露天風呂用ボイラー）が決定されたことから、ボイラーの有効2機種が営業稼働している岡山県西粟倉村へ総務文教委員会と合同で視察を行いました。現地では南部川森林組合の理事の方々とともに流しました。

西粟倉村は岡山県の最も山深い鳥取県との県境に位置しています（みなべから車で約5時間の距離）。森林が面積の95%以上を占める人口約1500人の小さな村です。この山間の小さな村が、平成の大合併を拒み、50年前に、子や孫のためにと、木を植えた人々の想い。その想いを大切に、立派な百年の森林に育て上げていく。そのためにあと50

年、村ぐるみで挑戦を続けようと決意する」という理念『百年の森林構想』を掲げ、全国から大きな注目を集めています。その取組の一環として村営温泉2ヶ所へ薪ボイラーが導入されています。

視察ではまず役場産業観光課・白旗主任から村の概要に始まり、百年の森林構想、将来ビジョン、薪ボイラーの導入、木の駅プロジェクト、森の学校事業（家具製造・販売）等について詳細に説明して頂きました。

村には村有の3つの温泉施設があり、うち2ヶ所に薪ボイラーが導入されています。そして村が委託する村楽エナジー(株)が薪割りや運搬、投入やボイラー管理を行っています。2ヶ所での薪消費量

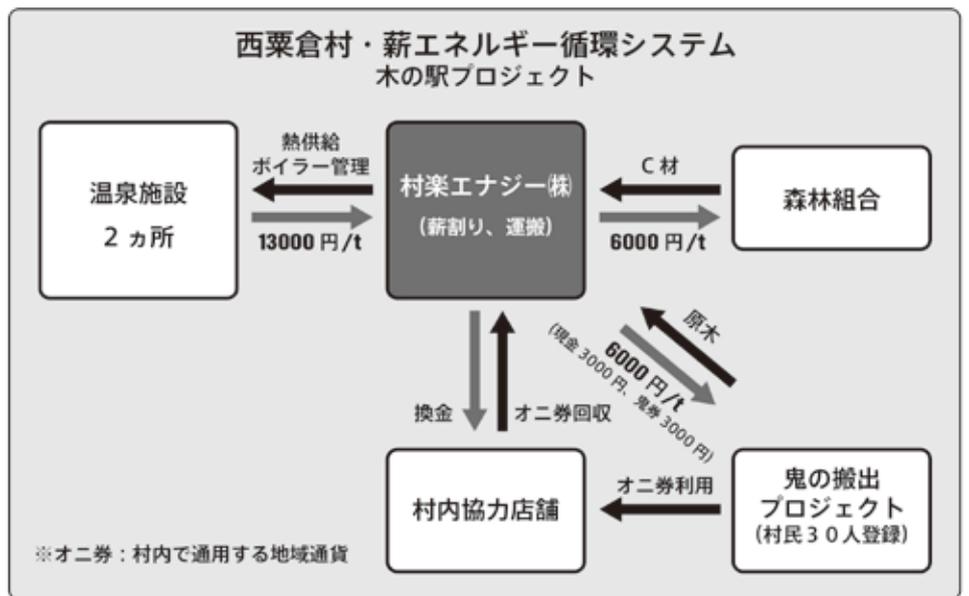


乾燥中の薪の前で

は約500t、年前後だそうで、今年度中に残りの1ヶ所へ薪ボイラーが導入されることになっていきます。灯油単価や代替率に左右されることが多いのですが、燃料費40%の削減を目標に取り組んでいるとのこと。

薪は森林組合や鬼の搬出プロジェクト（民間からの買取りシステム、30人が登録）から6000円/tで買上げ、温泉施設へは発生熱量による換算で2000円/GJ（ギガ

### 西粟倉村・薪エネルギー循環システム 木の駅プロジェクト



ジュール 1t=8GJ ×0.85=約13000円)で販売しています。その差額が村楽の収入になるので、熱交換効率が上がります。また鬼の搬

出プロジェクトから買取る60000円のうち、30000円は地域通貨（オニ券）で支払われ、村内の提携店で利用できます。お金が村内で回転するようになっていきます。



薪割り作業

村楽エナジー(株)の工場は広大な森林組合の敷地の一角にあり、大量の薪が乾燥のため保管されています。薪製造所ではカナダ人のダニエルさんが薪割り作業を実演してくれました。屈強な彼でも毎日の重い薪の持ち運びで腰を痛めたとのこと、日々、負担の少ない環境にすべく改善しているそうです。

村楽では村内全体にバイオマスを普及(公共設備への活用、新しい住宅提案、農業や養殖施設への活用、新産業の起業等)させていくための調査・研究を行っています。バイオマス熱事業の目的は

- ①導入先の経費削減
  - ②地域内での経済循環
  - ③林業への貢献
  - ④地球温暖化抑制
- であり、これら全てを満たすことが必要とのこと。

視察を終えての感想は、森林行政を柱づくりの柱に据え、村ぐるみで本気で取り組まれているということ。その結果、人口1500人の小さな村ながら、日本の最先端をまいる進んでいます。人口減にも歯止めが掛かったとのこと、地方創生のあ

るべき姿ともいえます。このレベルを水平展開することは困難でしょうが、みなべ町でも自伐林業を核としながらエネルギーの地産地消を実現していきたいですね。鶴の湯温泉への薪ボイラー導入がその第一歩になってくれるものと期待します。



ボイラーへの薪投入作業

3月27日午後の降ひょうによる梅果実被害の状況をうめ課と産業課から説明を受け、被害園地の視察を行いました。降ったひょうの粒が細かく、大きな被害を受けた埴田、東吉田、熊岡、晩稲では全滅に近い状況の園地もありました。1つの実に何か所も傷がついてある園地が目立ち、まだま



ひょう被害状況調査



だ日々傷が出てきているようです。また、ウスイエンドウも同じ被害が出ているという報告を受けました。国や県に施策をお願い



いするなど、今後は当委員会だけでなく議会全体として当局と対応を検討してまいります。

梅の被害概要 (みなべ町内)

栽培面積 (H25年統計)	2,170 ha
生産量 (H25年統計)	37,000 t
被害面積	788 ha
内 30%以上の被害面積	198 ha
被害減収量	1,628 t
被害金額	4億 1,188万円

# 総務文教常任委員会 活動報告

平成28年2月16日、兵庫県西脇市の幼保一元化の取り組みについて視察を行い、幼保連携型認定こども園「西脇こども園」を見学しました。

## 西脇市の幼保一元化の取り組み

みなべ町には、大地震の発生により津波の被害を受ける可能性が危惧される、2ヶ所の保育所と1ヶ所の幼稚園があります。

また今後の少子化による園児数の減少や、国の保育制度の改正により、保育所と幼稚園を合わせて考えていかなければならず、町では高台移転の検討も進めています。

このことから総務文教常任委員会では、新しい保育制度の認定こども園の先進地である兵庫県西脇市の取組の状況と「西脇こども園」



を視察しました。

西脇市では幼稚園は8園あり、すべてが市立幼稚園です。また保育所も8園ですべて私立の認可保育園で、4歳児までは保育所、5歳児から幼稚園に通園するというのが慣例であったとのことでした。

西脇市の幼保一元化に向けて平成23年3月に「西脇市幼保一元化基本方針」が策定されました。

策定の背景については、民間の社会福祉法人で運営されている保育所の方から、施設の老朽化による施設整備補助の要望があり、また市として幼稚園の園舎の老朽化があつて、建て替えか、維持していくのか、少子化の児童の減少にも対応していかなければならない行政課題もあり、そう

いったところを踏まえ、幼保一元化の基本方針が策定されたそうです。

保育所は、昨年4月に西脇こども園が認定こども園として開設し、本年4月に新たにもう一園が認定こども園として開設されます。

残りの保育所6園も、平成29年4月の認定こども園化に向けて、施設建設が進んでいます。残りの6園は社会福祉法人となっていますが、旧村の地区立の保育園となっており、西脇市では公立の幼稚園8園を平成29年度から1園に統合するということです。

認定こども園化が遅れば、その地区の5歳児が幼稚園へ行かなければならないということになり、遅れを取らないよう平成29年4月の開設に向けて全力で取り組んでおられます。



私立の認定こども園整備では、国の補助金があることから市議会としては、市長と共に地元国会議員へ補助金決定の早期内示を要望されているそうです。

### 私立西脇こども園は幼保連携型

西脇市議会での説明の後、西脇こども園を見学、伊達恵一施設長のお話では、「幼保連携型の認定こども園を受けたから、何が変りましたか」ということをよく聞かれるんですが、西脇こども園

の場合はほとんど変わらないとのことでした。もともと西脇保育所では12時間保育の対処をしており、土曜保育、休日保育も実施していたことから、何も変わらないというのが実態とのことでした。

統廃合は大変ですし、難しい所はいっぱいあると思います。幼稚園と保育所のカリキュラムの自身の時間割とか言われておりますが、認定こども園への移行は、ほぼ問題はなく、保護者の方々も、子供さんも何も問題はないとのことでした。



## 農地転用の厳格化問題 県の動向を注視

仁坂知事は県議会2月定例会で、昨年8月以降、まとまった優良農地の転用を規制してきた県の方針について、県議会の議論を踏まえ、撤回すると表明しました。

一定の面積がまとまっている優良農地は、農地法に基づき宅地などへの転用は認められていません。しかし昨年夏までは、県や市町村は農業委員会からの申請があれば状況に応じて柔軟に許可されてきました。他方、そういう運用によって和歌山市などでは郊外の無秩序な開発が進み、市街地の空洞化や行政サービスの非効率化が進み、優良農地が失われるという弊害が生じていました。

3月、農地法の本来の趣旨に則り、今後は乱開発、市街地の空洞化につながる運用は認めないとする「農地転用規制厳格化」の方針を県内全域に適用すると表明しました。（県民の友3月号「知事メッセージ」に概要掲載）

これに対し、農家や市町村長から反対の声があがり、また県議会でも複数の議員から「農地の資産価値低下」「移住、定住、高台への移住困難」「田舎の発展を阻害」「農業委員会の判断を尊重すべき」と見直しを求める意見が相次ぎました。事実、この方針以降、みなべ町でも農業委員会での厳正な審査を経て転用申請したにも関わらず4件が不許可になりました。そこで議会では由々しき問題と県議会議員、産業課、農業委員会、他市町と連携を取りながら対応を検討していました。

このような状況に対し知事は再三、厳格化に理解を求めています。だが、予想以上に反発が強く、方針を撤回したものです。

県は許認可の段階で、市町村の考えを尊重する。その代わり、市町村や農業委員会には法律の趣旨に基づいて判断するように求めています。

その知事、県の言葉を信じるなら何も変わらないはずですが、実際の転用申請に対する県の判断を見守っていきたいと思います。問題があれば議会あげて対応します。

そこで知事は昨年8

わらず4件が不許可に

## 事務組合議会議員活動報告

### ●公立紀南病院組合議会 平成27年第5回臨時会

- ・日時 平成27年12月24日
- ・場所 社会保険紀南病院
- ・出席 田中議長、竹本副議長
- ・内容 決算認定、補正予算

### ●公立紀南病院組合議会 平成28年第1回定例会

- ・日時 平成28年2月23日
- ・場所 社会保険紀南病院
- ・出席 田中議長、竹本副議長
- ・内容 条例改正、予算審議

### ●田辺周辺広域市町村圏組合議会 平成27年第3回定例会

- ・日時 平成27年12月24日
- ・場所 西牟婁総合庁舎
- ・出席 田中議長、竹本副議長
- ・内容 決算認定

### ●日高広域消防事務組合議会 平成28年第1回定例会

- ・日時 平成28年3月4日
- ・場所 日高広域消防本部
- ・出席 谷本議員
- ・内容 条例改正、予算審議

### ●紀南環境広域施設組合議会 平成28年第1回定例会

- ・日時 平成28年2月22日
- ・場所 田辺市ごみ処理場
- ・出席 田中議長、竹本副議長
- ・内容 補正予算、条例制定、予算審議

### ●御坊日高老人福祉施設事務組合議会 平成28年第1回定例会

- ・日時 平成28年3月4日
- ・場所 御坊日高老人福祉施設事務組合
- ・出席 森坂議員
- ・内容 条例改正、補正予算、予算審議

### ●田辺市周辺衛生施設組合議会 平成28年第1回定例会

- ・日時 平成28年2月23日
- ・場所 田辺市清浄館
- ・出席 下村議員、原田議員、中本議員
- ・内容 予算審議



# 追跡調査 議員の質問とその後の行方

あのか、議員が一般質問した内容や各委員会が提言した内容が、町施策にどのような内容で反映したかを確認するための調査です。

## 平成25年5月定例会 一般質問

町民栄誉賞の創設を

町長答弁

みなさんがこの方と言われ  
方について表彰できる方法  
を模索していきたい

どうなった

### 総務課

平成16年の合併時には元々南部町に  
あった南部町名誉町民表彰条例を廃止し、「新町において現行制度内容を調整し  
新たに条例化する。」としています。スポーツや文化活動で活躍された方々には町体  
育協会と文化協会において毎年スポーツ  
賞と文化賞の表彰を行っています。今後  
もこの表彰で補完できないケースを想定  
して検討していきます。

## 平成25年12月定例会 一般質問

農作物鳥獣被害防止の  
今後の強化対策

町長答弁

捕獲檻については、町単独で  
も購入して貸し出しをしたい

どうなった

### うめ課

平成26年度にアライグマ捕獲檻20基を  
町単独で購入して、貸し出しを行っていま  
す。  
(平成27年度は76頭捕獲している)

## ～ 平成28年熊本地震によせて ～

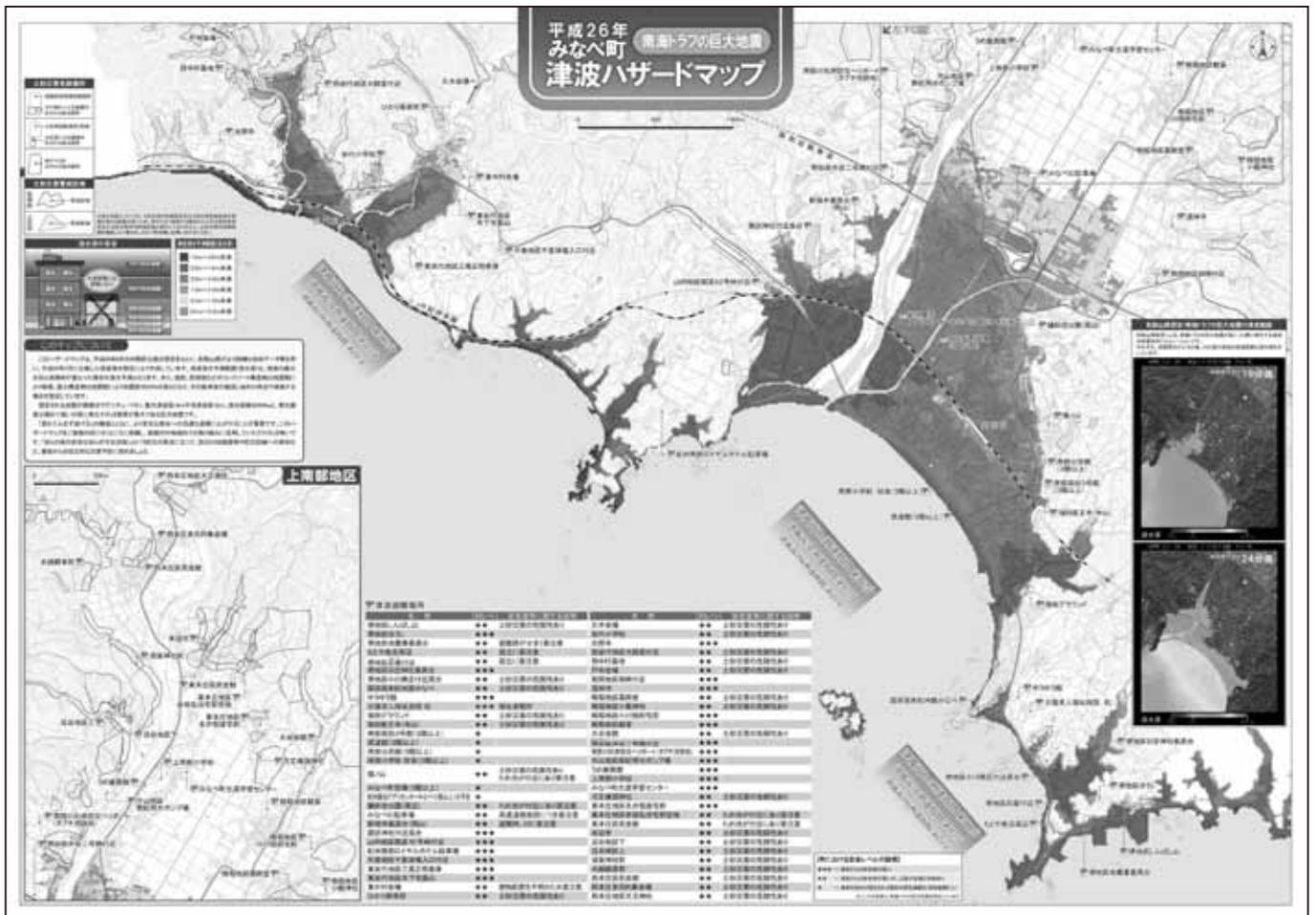
2016年4月14日21時26分、熊本県直下を震源とするマグニチュード6.5の「平成28年熊本地震」が発生しました。2日後、16日午前1時25分ごろ、震度6強（マグニチュード7.3）の地震が発生しました。この地震を受けて会見した気象庁は、「今回が本震で14日夜の震度7の地震が前震とみられる」との見解を示しました。いまなお、多くの余震が発生し、地震の回数と共に被害地の範囲も大幅に広がっています。まだまだ、予断の許さない状況下です。

犠牲となられました方々に哀悼の意を表しますとともに、依然として避難を余儀なくされるなど被災された皆様に、心からお見舞いを申し上げます。

## ～ 町民のみなさまへ ～

今回の熊本の地震は南海トラフ大地震の前兆かもしれないと言われています。南海トラフ巨大地震は、28年以内に発生する確率は70%、50年以内に発生する確率は100%と言われています。

この災害を教訓にみなべ町におきましては、防災対策を一日も早く整備し、きたるべき南海トラフ巨大地震に対しても犠牲者ゼロを目指して“自分自身が率先避難者”となるよう町民一丸となって取り組んでいただきますようお願いいたします。



# ☆お☆知☆ら☆せ☆

## ●新・議会事務局 メンバー

4月1日より、議会事務局のメンバーが一新しました。精一杯がんばりますのでよろしくをお願いします。

事務局長  
吉澤一男



「局員と共に、適正な業務の執行に努めて参ります。」

局員  
井出輝美



「4月からお世話になります。よろしくをお願いします。」

日高郡  
議長会  
事務局員  
上田悦子



(議会より) 任期中、事務局のご意見番よろしくをお願いします。

●議会や議会だよりへの意見や感想を募集しています。どんなことでもかまいません、議会事務局または提案箱までお寄せください。

みなべ町議会だより No.44  
平成28年5月1日発行  
発行 みなべ町議会  
編集 議会広報特別委員会  
〒645-0002  
和歌山県日高郡みなべ町芝742  
TEL 0739-72-1334  
FAX 0739-72-1335

# ようこそみなべ町へ

他市町から嫁いで来られたお嫁さんの紹介コーナーです



## 寺村<sup>ひとみ</sup>仁美 & 鉄也<sup>てつや</sup>さんご夫妻

みなべ町へ嫁いで来たお嫁さん、今回は上富田町市ノ瀬出身で平成18年11月25日に、寺村鉄也さん(東吉田)と結婚されました寺村仁美さん(旧姓：関)の紹介です。

### Q どんなきっかけで、鉄也さんと知り合いましたか？

→友人の紹介で知り合いました。

### Q みなべ町に嫁いできて感じたことは？

→住みやすい町だと思います。

### Q 町での生活はどうか？

(楽しい結婚生活のエピソードもあったらお聞かせください。)

→長男 大輝(だいき)と長女 美優(みゆう)を授かりました。周りのみんなに優しく、思いやりのある子供に育てたいと思います。

### Q 町に望むことはありますか？

→南部幼稚園に給食があれば良いと思います。

◎寺村仁美さん、ご協力ありがとうございました。

## 編集後記

新年度が始まり、皆それぞれ新しい目標に向けて歩み始める季節です。役場でも9名の新採用の職員さんを迎え、新体制がスタートしました。

今年度は6月9日に「全国商店街おかみさん交流サミット」がみなべ町で開催されます。実行委員の皆さまは準備に大変でしょうが、町のPRに大いに貢献してくれることと期待します。

また昨年認定された世界農業遺産をどう活かしていくか、真価が問われる年でもあります。世界レベルでの認定を誇りに、行政、住民の皆さま、議員が一丸になってこの意義を高めるべく、地に足をつけた取組をしていきたいと思います。

広報特別委員会  
副委員長 真造 賢二